

畜産

○鹿児島県の畜産物は三つの黒



鹿児島黒牛

鹿児島の黒毛和種の生産量は、全国一を誇り、「鹿児島黒牛」のブランド名で販売されています。

おいしさや安心・安全にこだわり、丁寧に育てられた鹿児島黒牛は、きめ細やかなやわらかい肉質とバランスのよい霜降りが自慢です。

また、「鹿児島黒牛」は地域団体商標登録済みです。

温暖な南国の緑と太陽に生まれた鹿児島黒牛は、安全な飼料を使って一頭一頭丹精こめて育てられ、肉質のきめの細かさと美味しさで、県内外で好評です。

かごしま黒豚

約400年前に琉球から移入されたといわれ、長い歴史のなかで改良を重ね誕生した「かごしま黒豚」。鹿児島の豊かな自然の中で、さつまいもを含んだ飼料で育てられた「やわらかく、歯切れがよく、うまみがある」肉質で県内外で高い評価を得ています。



黒さつま鶏

「かごしま黒牛」、「鹿児島黒豚」は日本全国に知られる名ブランド。そんな鹿児島の”黒”を背負う、第3のブランドとして県畜産試験場が”黒”にこだわり、6年もの年月をかけて生み出したのが「黒さつま鶏」です。

第12回全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催！（令和4年10月6日～10月10日）

○「全国和牛能力共進会」とは

和牛日本一を決めるため、5年に一度、各都道府県持ち回りで開催される和牛の品評会で、全国のブランド牛を一堂に集めてその優秀性を競う。審査は雄牛、雌牛の体型を審査する「種牛の部」と肉質を審査する「肉牛の部」があり、第12回大会は鹿児島県で開催。

令和4年10月6日から10日にかけて、全国の和牛王座を決定する「第12回全国和牛能力共進会」が地元、鹿児島県で開催され、鹿児島県勢は9部門中6部門で1席となり、なかでも「種牛の部」で鹿児島県代表の雌牛3頭が最高賞の**内閣総理大臣賞を受賞**。



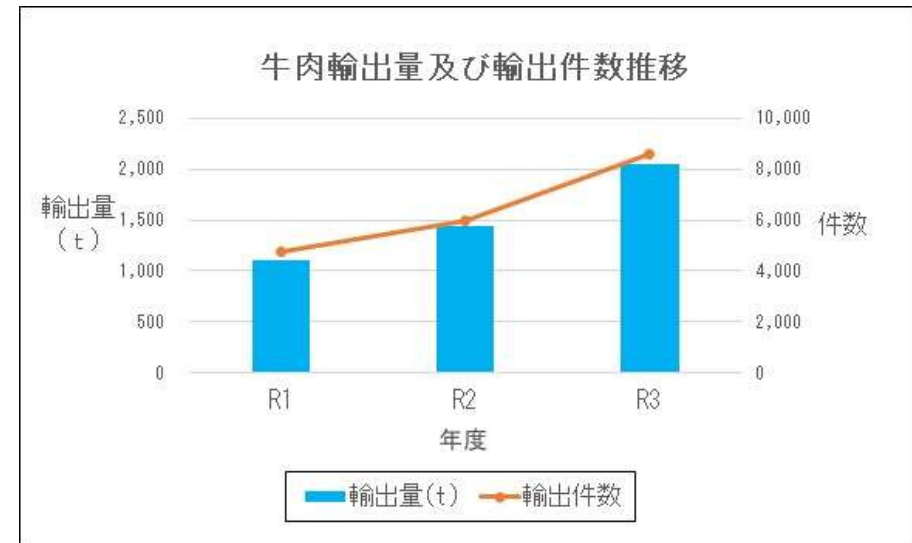
第12回全国和牛能力共進会（鹿児島）マスコットキャラクター「かごうしママ」



○牛肉輸出拡大中

鹿児島黒牛は、最近では**経済発展著しいアジアの各国でも人気が高まっており**、輸出量はアジアや米国、EU向けが年々増加。

（※輸出の際は、「KAGOSHIMA WAGYU」として、販売。）



参照：鹿児島県ホームページ 輸出実績